



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結) 平成18年 2月 13日

上場会社名 丸全昭和運輸株式会社 (コード番号: 9068 東証第1部)

(URL <http://www.maruzenshowa.co.jp/>)

代表者 取締役社長 野口 正剛

問合せ先責任者 取締役経理部長 山形 正治 (TEL: 045 — 671 — 5861)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成17年4月1日 ~ 平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 金額は百万円未満切捨

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	65,626	0.8	2,381	△10.8	2,713	△9.9	1,779	5.5
17年3月期第3四半期	65,105	7.6	2,668	4.7	3,012	8.1	1,686	7.3
参考) 17年3月期	86,360		3,376		3,768		2,187	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	19.63	19.55
17年3月期第3四半期	18.60	—
参考) 17年3月期	23.44	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	102,960	51,974	50.5	537.52
17年3月期第3四半期	88,983	46,716	52.5	515.30
参考) 17年3月期	89,164	47,259	53.0	521.33

(参考1) 個別経営成績等の状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	53,926	0.2	2,231	△9.9	2,452	△9.1	1,625	3.3
17年3月期第3四半期	53,831	3.4	2,476	5.2	2,696	9.1	1,573	15.3
参考) 17年3月期	71,443		3,247		3,535		2,166	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

3. 平成18年3月期の連結業績予想 (平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	89,000	3,650	2,300

(参考2) 平成18年3月期の個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	73,000	3,350	2,200

(注) 業績予想については、本資料発表時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実績は異なる結果となる可能性があります。

経営成績及び財政状態

1. 経営成績

①当第3四半期（平成17年4月1日～平成17年12月31日）の概況

当第3四半期の運輸業界は、景気の穏やかな回復や堅調な設備投資等の好材料はありましたが、貨物取扱量の減少に加え物流拠点の集約に伴う競争激化、さらに燃料費の高騰や環境対策費等のコスト増加要因が重なり、依然として厳しい状況が続いております。このような状況下、当社グループは、独自性のある提案力でお客様の商流にまで入り込んだ物流においてベストパートナーとなり、付加価値の高いサービスを提供できる総合物流企業群に進化し、「第二次中期経営計画」の3月末の完遂にむけ、さらなる業績の向上を目指して邁進してまいりました。

その結果、3PL事業を中核とした新規荷主の獲得や既存業務の深耕を推進し、総コスト圧縮などに努めましたが、システム導入初期費用や燃料価格の高騰等の収益圧迫要因の増加により、当第3四半期の収益は当初の計画よりやや下方に推移し、売上高は65,626百万円と前年同期比520百万円（0.8%増）の増収となりましたが、営業利益は2,381百万円と前年同期比286百万円（10.8%減）、経常利益は2,713百万円と前年同期比298百万円（9.9%減）の減益、但し当期純利益はIT投資減税の影響もあり、1,779百万円と前年同期比92百万円（5.5%増）の増益となりました。

なお、事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

（単位：百万円）

区 分	当第3四半期			自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		
	物流事業	構内作業 及び機械 荷役事業	その 他 事 業	計	消 去 又 全 は 社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	52,725	11,213	1,687	65,626	—	65,626
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	314	314	(314)	—
計	52,725	11,213	2,002	65,940	(314)	65,626
営業費用	51,388	10,526	1,644	63,559	(314)	63,245
営業利益	1,337	686	357	2,381	(—)	2,381

（単位：百万円）

区 分	前第3四半期			自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		
	物流事業	構内作業 及び機械 荷役事業	その 他 事 業	計	消 去 又 全 は 社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	51,710	11,262	2,132	65,105	—	65,105
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	51,710	11,262	2,132	65,105	(—)	65,105
営業費用	50,144	10,574	1,719	62,437	(—)	62,437
営業利益	1,566	688	413	2,668	(—)	2,668

②当期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の見通し

平成17年11月17日の中間決算短信（連結）で発表した見通しは、変更ございません。

2. 財政状態

当第3四半期の財政状態につきましては、総資産は前第3四半期末と比較して13,977百万円増加しましたが、それは主に5,000百万円の新株予約権付社債発行と株主資本5,258百万円の増加によるものです。

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期		前第3四半期		比較増減	前連結会計年度	
	平成17年12月31日現在		平成16年12月31日現在			平成17年3月31日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	32,500	31.6	26,577	29.9	5,923	26,770	30.0
現金及び預金	8,991		4,064		4,926	5,982	
受取手形	1,668		1,664		4	1,534	
営業未収金	16,708		16,453		255	15,945	
有価証券	—		—		—	50	
たな卸資産	342		174		167	117	
繰延税金資産	510		581		△71	549	
その他	4,354		3,690		663	2,612	
貸倒引当金	△74		△51		△23	△21	
固定資産	70,459	68.4	62,406	70.1	8,053	62,394	70.0
有形固定資産	41,631	40.4	40,390	45.4	1,240	40,377	45.3
建物及び構築物	21,906		20,747		1,158	20,579	
機械装置及び車両	3,408		3,482		△74	3,466	
土地	16,091		15,747		344	15,745	
その他	225		413		△187	584	
無形固定資産	2,639	2.6	2,752	3.1	△112	2,735	3.1
投資その他の資産	26,189	25.4	19,263	21.6	6,926	19,281	21.6
投資有価証券	21,368		14,468		6,899	14,540	
その他	4,870		4,900		△30	4,824	
貸倒引当金	△49		△105		56	△83	
資産の部合計	102,960	100.0	88,983	100.0	13,977	89,164	100.0
(負債の部)							
流動負債	26,007	25.3	25,505	28.7	501	24,887	27.9
支払手形	116		225		△109	115	
営業未払金	8,949		8,775		174	8,705	
短期借入金	11,509		10,868		641	10,956	
その他	5,431		5,636		△205	5,109	
固定負債	24,943	24.2	16,725	18.8	8,217	16,983	19.1
新株予約権付社債	5,000		—		5,000	—	
長期借入金	10,770		9,551		1,218	9,847	
退職給付引当金	4,073		4,768		△694	4,599	
その他	5,099		2,406		2,693	2,536	
負債の部合計	50,950	49.5	42,231	47.5	8,718	41,870	47.0
(少数株主持分)							
少数株主持分	35	0.0	35	0.0	0	35	0.0
(資本の部)							
資本金	9,117	8.9	9,117		0	9,117	
資本剰余金	7,844	7.6	7,843		0	7,843	
利益剰余金	29,537	28.6	27,962		1,575	28,463	
其他有価証券評価差額金	7,794	7.6	4,096		3,697	4,181	
為替換算調整勘定	△149	△0.1	△149		△0	△189	
自己株式	△2,169	△2.1	△2,154		△15	△2,158	
資本の部合計	51,974	50.5	46,716	52.5	5,258	47,259	53.0
負債・少数株主持分及び資本の部合計	102,960	100.0	88,983	100.0	13,977	89,164	100.0

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目		期 別		当第3四半期		前第3四半期		比較増減	前連結会計期間	
		自平成17年4月1日 至平成17年12月31日		自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		自平成16年4月1日 至平成17年3月31日				
		金額	百分比	金額	百分比	金額	金額	百分比		
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	65,626	100.0	65,105	100.0	520	86,360	100.0	
		営業収入	65,626		65,105		520	86,360		
		営業費用	63,245		62,437		807	82,983		
		営業原価	60,660		59,912		748	79,780		
		販売費及び一般管理費	2,584		2,525		59	3,202		
		営業利益	2,381	3.6	2,668	4.1	△286	3,376	3.9	
	営業外損益の部	営業外収益の部	営業外収益	600		593		6	698	
			受取利息及び配当金	297		246		50	277	
			持分法による投資利益	186		208		△21	202	
			雑収入	117		138		△21	218	
営業外費用の部		営業外費用	268		249		18	306		
		支払利息	208		218		△10	275		
	雑損失	59		30		29	31			
	経常利益	2,713	4.1	3,012	4.6	△298	3,768	4.4		
特別損益の部	特別利益	374		66		307	163			
	特別損失	156		152		4	253			
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		2,931	4.5	2,926	4.5	4	3,678	4.3		
法人税、住民税及び事業税		868		1,226		△358	1,380			
法人税等調整額		277		8		269	105			
少数株主利益		5		4		0	4			
第3四半期(当期)純利益		1,779	2.7	1,686	2.6	92	2,187	2.5		